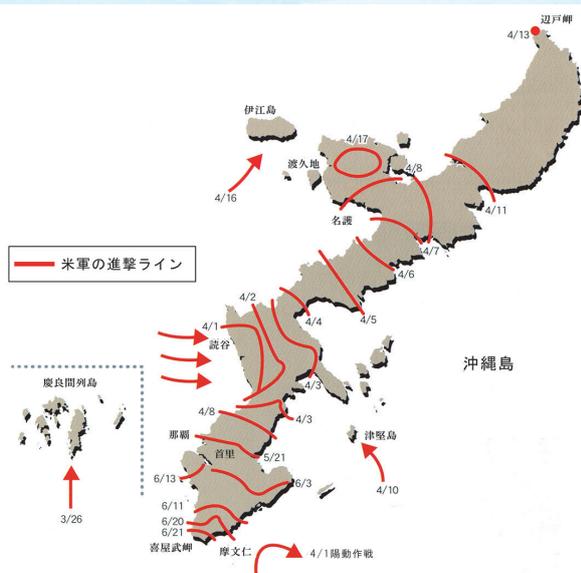


おきなわせん 沖繩戦について



〔沖繩県の戦闘経緯〕

(提供: 沖繩県平和祈念資料館)

力となる少年や少女には、軍事的任務を与え、アメリカ軍との戦いに臨みました。

沖繩戦は、1945年3月26日の慶良間諸島でのアメリカ軍上陸から始まりました。アメリカ軍は、上陸前の一週間で約40,000発の砲弾を撃ち込み、1,600機の戦闘機で爆撃・機銃を加えたといわれています。

そして、4月には沖繩の中西部海岸(読谷～北谷)に上陸、沖繩の日本軍を南北に分断することに成功しました。日本軍の主力とアメリカ軍は首里で激突し、激しい戦いになりましたが、日本軍は主戦力の8割を失い、5月下旬、首里を放棄して沖繩島南端の摩文仁に撤退、最終的に6月に第32軍の牛島司令官は自決しました。しかし、この時に牛島司令官は戦闘の継続を命令して自決したため、その後も沖繩では生き残った兵士により戦闘が続けられ、日本が降伏した8月15日以降も戦闘状態は続いていました。沖繩戦が正式に終結したのは、9月7日のことでした。



〔9月7日 降伏文書調印式〕

(沖繩県公文書館所蔵)

沖繩での戦いは、アジア太平洋戦争の中で行われた日本国内におけるただひとつの地上戦です。

ミッドウェー海戦における敗戦をきっかけに劣勢となった日本軍は、沖繩を重要な防衛線とし、本土防衛の大きな砦としました。

1944年3月、沖繩に第32軍を配備し、アメリカ軍との決戦に備え、老人や子どもたちを沖繩から撤退させることを決定、その数は20万人近くに上りました。

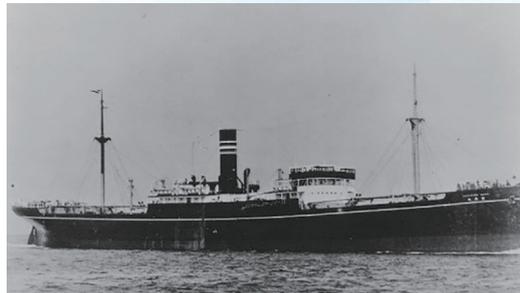
日本軍は、戦力にならない老人や子どもを沖繩から強制退去させる一方で、ぎりぎり戦

沖繩戦においては、日本の防衛のために軍人ではない多くの住民が戦争に参加することになりました。沖繩戦で戦死した軍人でない沖繩住民は約10万人に上ります。私たちはこのような事実を知り、このようなことが二度と起こらないよう、学びそして考えていきたいと思ひます。

つしままる ひげき [「対馬丸」の悲劇]

1944年8月に日本の長崎ながさきに向かって出発した対馬丸は、アメリカ軍潜水艦せんすいかんの攻撃こうげきを受けて沈没ちんぼつ、乗船じようせんしていた約1,800人のうちおよそ1,500人が死亡しぼうしました。そのうち約800人が学校がっこうに通っていた児童じどうでした。

この撃沈事件げきちんを日本軍は秘密ひみつにし、生き残った者ものには強い口止めくちどを行いました。沖縄の悲劇ひとびとが当時の日本とうじの人々に知らされることはありませんでした。



〔対馬丸〕

(提供:対馬丸記念館/日本郵船所蔵)

てつけきんのうたい がくとたい [「鉄血勤皇隊」と「ひめゆり学徒隊」]

14~18歳さいの少年こうせいで構成された「鉄血勤皇隊」は、伝令でんれいや通信つうしんの役割やくわりを与えられ、砲弾たうだんや銃弾じゆうだんが飛び交とう中なかを行動こうどうしていきました。中には爆弾ばくだんを身につけアメリカ軍戦車せんしやに体当たりたいありし、自爆じばくした少年どういんもいました。「鉄血勤皇隊」として1,674人が動員せんしされ、818人が戦死せんししました。



「ひめゆり学徒隊」は、222人の少女たちで構成された学徒隊おものひとつです。少女たちは主に負傷ふしやうした軍人かんごの看護かんごや身の回りの世話などの雑務ざむを行いました。

[アメリカ兵と沖縄の少年兵] 5月下旬の南部への撤退後おとは、
(沖縄県公文書館所蔵) 分散ぶんさんしてそれぞれのガマどうくつ(洞窟)

こと)に潜ひそんでいましたが、6月19日解散命令によりガマの外へ出され、123人が戦死しました。他にもいくつもの学徒隊がつくられ、多くの若い生命が戦争の犠牲となりました。

[この項の数字については、『ひめゆり平和祈念資料館資料集4沖縄戦の全学徒隊』(2024年版)による]

[ガマの中で起きた悲劇]

アメリカ軍に追おい詰められた日本軍、住民はガマと呼ばれる洞窟おつに潜ひそんでいました。あるガマでは、敵軍に捕とらわれてはいけないと軍隊から教えられていた日本兵が、住民に「もし捕とらえられたらアメリカ軍からひどい目にあわされる」と説き、住民に自決おしするよう追へいい込んでいきました。結果けつ、住民が自ら命みづかを絶いのちっていくという悲劇たが起きています。しかし、そのような悲劇いっぼうが起きた一方で、別のガマではアメリカでの生活経験せいかつけいけんがあった住民が、「アメリカ軍はそのようなことはしない、降伏だいじやうぶしても大丈夫だ」と周囲しゆういの人を説得せつとくし、降伏のし生き延びました。真実しんじつを知ることの大切しさが示たいせつされているといえます。



〔ひめゆりの塔と伊原第三外科壕〕

(提供:ひめゆり平和祈念資料館)